



かごしま子どもリーダー塾で自願流を体験する塾生たち

鹿児島県からのメッセージ

子育てについての国家ビジョンが不透明な中で、鹿児島県や我が国の将来を担う子どもたちをどのように育てていくかは、大きな課題です。

県では、「かごしま地域塾」において、鹿児島のよき教育的伝統を生かしながら、地域における子育ての機会創出に積極的に取り組んでいます。

特集

地域による人づくり 「かごしま地域塾」

鹿児島には、古くから、地域で青少年を育てる気風があります。

今回の特集では、このような鹿児島の教育的な風土や伝統を生かしながら、子どもたちが思いやりや自律心などを学ぶことを目的とした「かごしま地域塾」の取り組みについて紹介します。

かごしま地域塾って何？

鹿児島県には、地域住民同士の強い結びつきや助け合いの精神に加え、郷中教育や「日新公いろは歌」、「出水兵児修養の掟」といった先人の教えが伝えられるなど、教育を大事にする伝統や風土があります。

「かごしま地域塾」では、このような特徴を生かしながら、異年齢集団での体験活動を通して、思いやりの心や自律心、社会的規範意識などを身につけることを目指しています。

「かごしま地域塾」は、本県の『郷土に学び・育む青少年運動』（県民運動）の一環として進めており、現在、県内55団体が、郷土の歴史や文化、人材、自然などの資源を生かしながら、地域ぐるみで活発に活動しています。



自彊学舎人づくり塾(鹿児島市)

野太刀自顕流の稽古などのほか、妙円寺詣りなどの伝統行事にも参加しています。

【地域塾とは①～③を満たす団体のことをいいます】

- ① 地域塾の基本となる次の要件を満たしていること
 - ①次代へ引き継ぐ理念・精神等を設定していること
 - ②異年齢による精神鍛錬の場を設定していること
 - ③年間を通じた学習活動の場を設定していること
- ② 地域に根ざした特色のある活動を展開していること
- ③ 将来的に、自立・発展が可能な取り組みを行っていること

県内各地の地域塾の取り組み

| 地域塾名 | 主な活動内容 | 地域塾名 | 主な活動内容 |
|--------------------|-----------------|---------------|-------------------|
| 鹿児島市 | | 伊佐市 | |
| 鹿児島シニアリーダークラブ「とまと」 | ボランティア(自然の家など) | レインボーキッズいさ | 地引網体験、ふるさと学寮 |
| 鹿児島ジュニアリーダークラブ | 地域塾宿泊研修 | 始良市 | |
| 研明舎 | せごどんのエンコ、妙円寺詣り | 青雲舎 | 野太刀自顕流、天吹 |
| 自彊学舎人づくり塾 | 野太刀自顕流、赤穂義士伝輪読会 | 寺小屋 | 農業体験 |
| ぬくみ子ども塾 | 農業生産活動 | 曾於市 | |
| ボーイスカウト元気塾 | 郷中キャンプ | どんぐり谷自然塾 | 環境学習、沢登り |
| ボーイスカウト鹿児島21団 | キャンプ | 志布志市 | |
| 薬丸自顕流顕彰会 | せごどんのエンコ、演武 | 有明サタデー広場 | ふるさと通学学舎 |
| よしのっ子地域塾 | いおうじま探検 | 伊崎田サタデー広場 | 伊崎田相撲大会 |
| 山下校区あいご会 | 城山登山、破魔投げ | おおのみ地域塾 | 鬼火焚き、ひまわり植え |
| かいぶん地域塾 | 薩摩義士伝輪読会、霧島遠行 | 安楽地域塾 | 鶏解体体験、山宮神社踊り |
| いちき串木野市 | | 田之浦地域塾 | 鬼火焚き、子ども神楽 |
| いちき串木野市青松塾 | 異年齢学習 | 亀ん子広場 | ウミガメ飼育・放流 |
| 三島村 | | 大崎町 | |
| 大里地区子ども会 | 島一周遠足 | 中沖キッズ地域もりあげ隊 | 中沖棒踊り伝承活動 |
| 竹島地区子ども会 | ジャンベ活動 | 肝付町 | |
| 十島村 | | 国見地域塾 | 国見岳登山・鬼火焚き |
| 悪石島子ども会 | 清掃活動 | 宮富地域塾 | 宮富塾(夏、冬休み期間中の勉強会) |
| 指宿市 | | 中種子町 | |
| いぶすきふるさと探検隊 | 篤姫散策、開聞岳登山 | 中種子チャレンジキッズ | ウミガメ放流 |
| 山川校区郷中わくわく体験塾 | 郷土芸能体験、山川まち歩き | 屋久島町 | |
| 南さつま市 | | 山ん学校21 | 大ウナギ捕り、冬山登山 |
| 金峰さらり塾 | 金峰山登山、そば収穫 | 西之表市 | |
| 小湊チャレンジ教室 | ふるさとの川ホテル観察 | ふるさとまなび～隊 | ニュースポーツ |
| 津貫未来塾 | 遠泳、きんかん摘み | ジュニア育成ハーモニー教室 | サトウキビ収穫体験 |
| 長屋まっくろ塾 | 長屋相撲、いろはかるた | 奄美市 | |
| 益山わくわく塾 | 合唱、竹屋ヶ尾登山 | 炎神キッズ | 創作ダンス |
| 川畑道場 | 地引き網体験 | ふるさと奄美塾 | 泥染め体験 |
| 万世ほのぼの塾 | いろはかるた、歩こう会 | 宇検村 | |
| 南九州市 | | 阿室っ子E倶楽部 | 八月踊り |
| たかた三世代塾 | ふるさと学寮、川辺焼き体験 | 瀬戸内町 | |
| 薩摩川内市 | | ひぎやわらべチャレンジ | 異世代交流 |
| 黒木地域興しキッズ隊 | 黒木鷹踊り伝承活動 | 嘉鉄子ども会 | 親子読書会 |
| 伝統文化元気塾 | 人形浄瑠璃伝承活動 | 知名町 | |
| 水引キッズ応援隊 | 寺子屋事業 | 知名町子ども会 | 伝統芸能伝承活動 |
| わくわく馬越ん子塾 | ホテル学習会 | 喜界町 | |
| 長島町 | | あらきわらび教室 | 民俗芸能伝承活動 |
| 城小っ子育成支援隊 | そば、ジャガイモづくり | | |
| 阿久根市 | | | |
| ボーイスカウト阿久根第1団 | 夏キャンプ | | |

地域塾の取り組み

水引キッズ応援隊

大学との連携による地域塾活動

(薩摩川内市水引町)

夏休み中の体験活動や地域住民との交流を通して、人と人のつながりの大切さを教えながら、地域ぐるみで子どもたちを育てていこうと平成17年に結成された「水引キッズ応援隊」。小学3年生から中学生を対象に自然体験や文化体験を行っており、現在24人の児童・生徒が活動しています。

夏休み期間中、週3日ペースで行われている「寺子屋事業」では、自然体験や文化体験を中心に寺子屋形式で授業が行われています。平成20年からは、地元女子大



「水引を離れた子どもたちも、親になった時に『子育てをするなら水引で』と帰ってきてくれることが最終目標です」と話す皆吉さん(左)と育成コーディネーターの濱田みず代さん(右)。

の学生が総合演習の一環として参加しており、専攻科目を取り入れたプログラムは、子どもたちの興味や関心を高めるのに一役買っています。

「体験を通しての学習には、人やアイデアなど足りないものがあったですね。始まった当初は問題が山積みでしたが、地域ぐるみで子育てをするということをあらためて学んだような気がします」と話すのは、会長の皆吉縁さん。児童・生徒の親御さんをはじめ、地区内の高校生・中学生やボランティア会員のバックアップをもらえるようになったことで、機動力、アイデアなど運営がスムーズにできるようになりました。



「子どもを育てる上で、学校、家庭、地域の連携が必要ということを実感しました」と話す鹿児島純心女子大学の清水晴奈さん(左)と松永好美さん(右)。

「卒業し、手伝いに来てくれる子どもたちが、自分たちが築き上げてきたことが現在の活動につながっていると感じてくれたらうれしいです。大人になったときに、何かためになったと思ってくれたらいいですね」。



夏休み期間中に実施されている「夏の探検隊」は、県内の離島と本土を隔年で訪れています。地元の子どものちとの交流を通じ鹿児島島の良さを認識してもらおうと、その土地に根付く伝統や風土に直接触れる機会を設けています。今年は南九州市川辺町の高田小学校を7月23日～25日の日程で訪問しました。

【問い合わせ先】 水引キッズ応援隊事務局 薩摩川内市横馬場町 4-4 ☎0996(23)1514

伊崎田サタデー広場

校区公民館による地域塾活動

(志布志市有明町)

毎月第3土曜日に開かれる「伊崎田サタデー広場」には、校区内の小学生、中学生が参加しています。伊崎田地区は、もとも



「5者連携で運営しているのが、こんなに活発に活動を続けられている秘訣だと思います。みんなの協力があってこそこの活動です」と話す伊崎田小学校の東光司校長(左)と松木館長(右)。

と青少年を育てようという意識の強い地域。平成14年から学校週5日制になったことをきっかけに、公民館を中心とした地域サポート事業として始まりました。

「伊崎田サタデー広場の特徴は、公民館をはじめ、小学校、中学校、長寿会、保育園の5者連携で運営しているところ」と話すのは、伊崎田公民館の松木健二館長。「公民館主導で始まったサタデー広場ですが、子どもたちを日頃から近くで見ている学校や、地域の伝統芸能・行事に詳しい長寿会などの協力のおかげで、幅広い分野で体験活動をしてもらえるようになりました」。月に一回のペースで行われる活



保育園主催によるドッジビー。※とても軟らかい素材のフライングディスク(フリスビー)を使った、ドッジボール形式のニュースポーツ。

茶の産地としても知られている伊崎田地区。長寿会のメンバーから製茶の仕方を学ぶ「お茶もみ体験」。

【問い合わせ先】

伊崎田サタデー広場
志布志市有明町伊崎田 8846
☎ 0994 (74) 1510

「さまざまな世代の方々と触れあう機会が多いからこそ、学ぶことも多いと思います。感じるものは違っても、それぞれの心に何か残るといいですね。今後は、区内に限らず、ほかの地域の行事や自然活動にも参加して、視野を広げるような体験をさせてあげたいと思っています。」

今後の活動へ期待しています！

地域塾指導者から



かみせ まさはる
上瀬 正治さん
(山川校区郷中わくわく体験塾)

地域塾活動を通して、子どもたちが地域の方々と交流する機会が増え、地域でのあいさつや声かけなどがしやすくなり、地域の方々からは、子どもたちのあいさつもよくなったとよく言われるようになってきました。また、地域に子どもが少なくなっている現状の中、地域塾での交流活動は、高齢者の方々の生き甲斐にもなっています。

子どもたちには、「生まれ育った故郷の良さを認識してもらいたい」ということ、「人との交わりの大切さを感じてもらいたい」ということの2点を伝えたいと考えております。

そして、子どもたちには、「未来の地域塾を担う人間になってもらいたい」、「人を思いやることのできる人間になってもらいたい」ということを期待して活動しています。



しまご こういち
島子 孝一さん
(中沖キッズ地域もりあげ隊)

地域塾活動では、全部大人がお膳立てしてあげるのではなく、子どもができることは子どもにまかせるというのが本当の楽しさにつながるのではないかと思います。ふるさとでの楽しい活動が子どもたちの心の中にインプットされれば、この体験こそが、将来自分たちの地域を活性化していこうという原動力になるのではないかと思います。

また、子どもたちに対する地域の方々の見方も変わりました。中学生が運動会のボランティア活動に参加したことを非常に驚いていました。そして、地域の方々から、「来年は、保護者や消防団、若者たちでも一組つくって、盆踊りを踊ろう」と言われるなど、大人も頑張ろうという感じになってきており、そこが大きく変わってきたところです。



ながい きぶろう
長井 三郎さん
(山ん学校21)

子どもたちにとって初めての体験が多く、活動を通して屋久島の新たな一面を発見しているようです。私たち大人は、子どもたちに屋久島の自然がどういふものか、身をもって体験してもらいたいということを基本に活動しています。僕らがまいた種によって、子どもたちがどう変わっていくか楽しみにしています。

地域塾活動を通して、子どもたちには、もっと地域の自然と遊んでほしい。そして、自然と一緒につきあうことで、人間の立場やあるべき姿を知ってほしいと思っています。また、子どもたちに、人間は自然の中で生かされている存在だということに気づいてもらいたいと思います。自然の中での体験や遊びを通して、もっとたくましく、優しい子どもになってくれることを期待しています。

かごしま子どもリーダー塾講師から

いえだ あきら
家田 明さん
(日本銀行 鹿児島支店長)

教育こそが社会を構築していくための最大の役割だと考えています。

しまづ のぶひさ
島津 修久さん
(株式会社島津興業 会長)

塾では、大阪方では「困ったときに助けてくれる人たち」と評された薩摩の先人の思いを忘れないでほしいという思いを込め、塾生に「薩摩落人伝説」の話をしました。

おもたか としひろ
面高 俊宏さん
(鹿児島大学大学院理工学研究科 教授)

塾生には、子どもの頃に「不思議だなあ、やってみたいなあ」と思ったことを大事にしてほしいです。夢を持ってやりたいことを学んでほしいと思います。

ひがしりゅういち
東 隆一さん
(薬丸野太刀自顕流保存会 会長)

20年、30年先を見た教育が必要だと思えます。鹿児島に生まれたことを幸せに感じる、そんな子どもに育てていきたいです。

グレン・フォーブスさん
(純心女子短期大学 准教授)

これからは、鹿児島から見た海外という視点だけでなく、海外から見た鹿児島という意識も持ってほしいと思います。

みわ そうはく
三輪 宗博さん
(学校茶道連絡協議会鹿児島支部 相談役)

茶道体験を通して、塾生たちには、「道具を磨く、清めるということは心を清めるということ」や「絶えざる努力、見えないところでの努力が大切であること」を伝えていきます。